

舗装個別施設計画

令和5年2月
(令和6年1月一部改訂)

更 別 村

目 次

1. 舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 舗装修繕予算の現状
- 1.3 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類（グループ分け）
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度
- 2.5 使用目標年数（分類C・Dの道路）

3. 計画期間

- 3.1 計画期間
- 3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

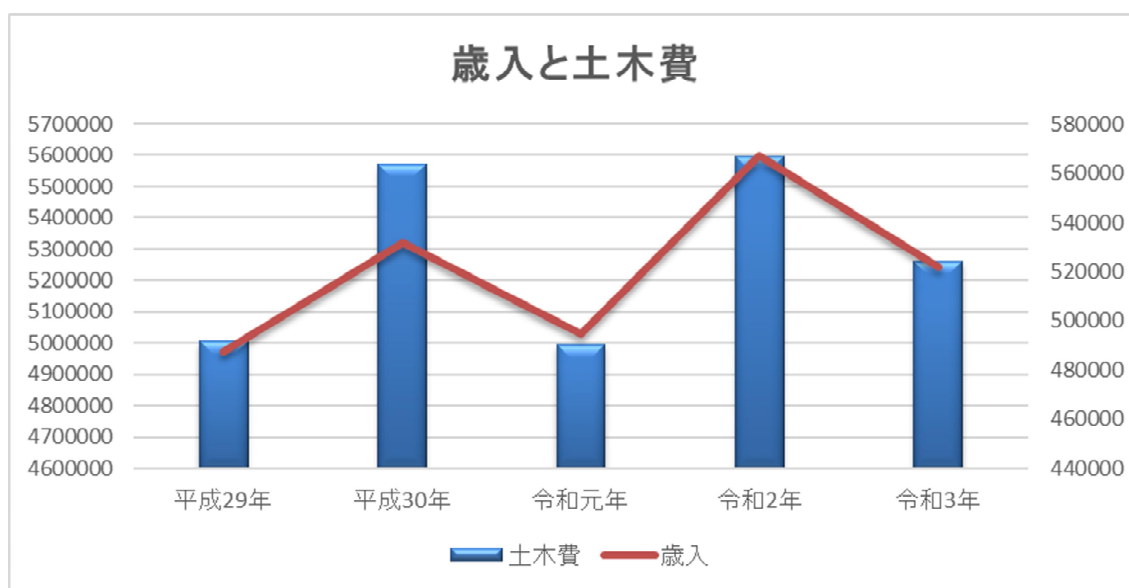
(1) 管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		A s 舗装	C o 舗装	
1 級市町村道	67.29 k m	63.13 k m	0.15 k m	94.04%
2 級市町村道	89.58 k m	80.73 k m	0.21 k m	90.35%
その他市町村道	315.81 k m	73.33 k m	1.16 k m	23.59%
計	472.68 k m	217.19 k m	1.52 k m	46.27%

※A s 舗装には簡易舗装を含む

1.2 舗装修繕予算の現状

・舗装工事などの公共物維持が含まれる土木予算と歳入状況は下記の表の
おりであり、更別村総合計画に基づき実施しているが、公共施設の劣化状
況に応じた緊急性のある修繕対応等もあることから、財政収支は例年一律
にならないのが現状である。



1.3 舗装の現状

・令和4年度に実施した路面性状調査結果を以下に示す。

村道名	ひび割れ率 (%)		わだち掘れ量 (mm)		I R I (mm/m)		MCI	
	15%未満		20mm未満		3mm/m未満		5 \geq MCI>4	
勢雄13号 Sp9m～ Sp450m	15%未満	90.0%	20mm未満	100.0%	3mm/m未満	30.0%	5 \geq MCI>4	100%
	15%以上 35%未満	10.0%	20mm以上 40mm未満	0.0%	3mm/m以上 8mm/m未満	70.0%	4 \geq MCI>3	0.0%
	35%以上	0.0%	40mm以上	0.0%	8mm/m以上	0.0%	3 \geq MCI	0.0%
東5号 Sp559m～ Sp5282m	15%未満	6.4%	20mm未満	96.8%	3mm/m未満	5.3%	5 \geq MCI>4	40.4%
	15%以上 35%未満	71.3%	20mm以上 40mm未満	3.2%	3mm/m以上 8mm/m未満	94.7%	4 \geq MCI>3	45.7%
	35%以上	22.3%	40mm以上	0.0%	8mm/m以上	0.0%	3 \geq MCI	8.5%
香川南中央線 Sp1674m～ Sp3889m	15%未満	81.8%	20mm未満	90.9%	3mm/m未満	47.7%	5 \geq MCI>4	27.3%
	15%以上 35%未満	18.2%	20mm以上 40mm未満	9.1%	3mm/m以上 8mm/m未満	52.3%	4 \geq MCI>3	2.3%
	35%以上	0.0%	40mm以上	0.0%	8mm/m以上	0.0%	3 \geq MCI	0.0%
勢雄西1線 Sp11m～ Sp5113m	15%未満	1.0%	20mm未満	99.0%	3mm/m未満	15.7%	5 \geq MCI>4	8.8%
	15%以上 35%未満	17.6%	20mm以上 40mm未満	1.0%	3mm/m以上 8mm/m未満	84.3%	4 \geq MCI>3	33.3%
	35%以上	81.4%	40mm以上	0.0%	8mm/m以上	0.0%	3 \geq MCI	56.9%
勢雄21号 Sp1041m～ Sp2089m	15%未満	86.4%	20mm未満	100.0%	3mm/m未満	27.3%	5 \geq MCI>4	13.6%
	15%以上 35%未満	13.4%	20mm以上 40mm未満	0.0%	3mm/m以上 8mm/m未満	72.7%	4 \geq MCI>3	0.0%
	35%以上	0.0%	40mm以上	0.0%	8mm/m以上	0.0%	3 \geq MCI	0.0%
38号 Sp6m～ Sp900m	15%未満	33.3%	20mm未満	77.8%	3mm/m未満	0.0%	5 \geq MCI>4	44.4%
	15%以上 35%未満	55.6%	20mm以上 40mm未満	22.2%	3mm/m以上 8mm/m未満	100%	4 \geq MCI>3	27.8%
	35%以上	11.1%	40mm以上	0.0%	8mm/m以上	0.0%	3 \geq MCI	11.1%
南4線 Sp8m～ Sp3967m	15%未満	37.5%	20mm未満	98.7%	3mm/m未満	11.2%	5 \geq MCI>4	51.2%
	15%以上 35%未満	53.7%	20mm以上 40mm未満	1.3%	3mm/m以上 8mm/m未満	87.5%	4 \geq MCI>3	15.0%
	35%以上	8.8%	40mm以上	0.0%	8mm/m以上	1.25%	3 \geq MCI	3.8%
東15号 Sp5947m～ Sp7131m	15%未満	0.0%	20mm未満	83.3%	3mm/m未満	4.2%	5 \geq MCI>4	8.3%
	15%以上 35%未満	50.0%	20mm以上 40mm未満	16.7%	3mm/m以上 8mm/m未満	95.8%	4 \geq MCI>3	70.8%
	35%以上	50.0%	40mm以上	0.0%	8mm/m以上	0.0%	3 \geq MCI	20.9%

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

- ・舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト削減を目指す。

2.2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・大型車交通量、路線の重要性、利用形態等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路 ・損傷の進行が緩やかな道路 (大型車交通量が少ない道路)	1級村道、2級村道
分類Dの道路 ・生活道路等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響がなければ長寿命道路)	上記以外の道路 (その他道路)

※分類は舗装点検要領（H28.10 国土交通省道路局）参照

2.3 管理基準

- ・管理基準は早期の修繕により施設の長寿命化を図る目的から、下表（表層機能保持段階：レベルⅡ）を参考とし修繕の検討を行う。

ひび割れ率	わだち掘れ量	IRI	MCI
15%以上 35%未満	20 mm以上 40 mm未満	3 mm以上 8 mm未満	5 \geq

【参考表】

健全度区分	レベルⅠ (健全)	レベルⅡ (表層機能保持段階)	レベルⅢ (修繕段階)
ひび割れ率	15%未満	15%以上 35%未満	35%以上
わだち掘れ率	20 mm未満	20mm 以上 40 mm未満	40 mm以上
IRI	3 mm未満	3mm 以上 8 mm未満	8 mm以上
MCI	MCI > 5	5 \geq MCI > 4	4 \geq MCI

2.4 点検方法・点検頻度

・点検方法及び頻度については、次の表を参考とする。

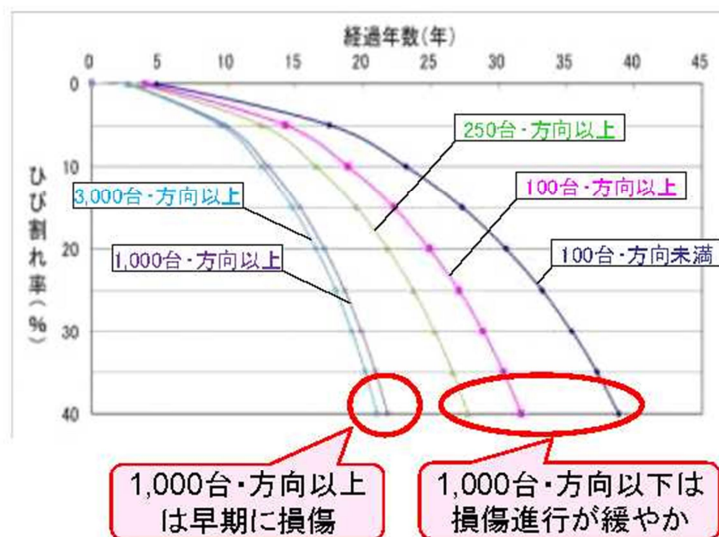
	点検方法（点検頻度）
分類Cの道路	通常巡視を含めた路面状況の目視点検及び自動測定装置による調査委託
分類Dの道路	通常巡視の道路維持管理業務を通じた路面状況把握

2.5 使用目標年数（分類C・Dの道路）

・使用目標年数は、早期の劣化区間の把握及び目標年数を意識した管理の実施を目的として、修繕実績や大型車交通量に応じ設定する必要があります。2.3「管理基準」で設定したひび割れ率と下図（国土交通省データ）の標準的な劣化曲線より30年とし、車両種別及び交通量等を勘案し適宜見直を行う。

また、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省第15号）」よりアスファルト敷（舗装）の耐用年数は10年となる。

As舗装における大型車交通量と舗装損傷の関係



出典：国土交通省データ

3. 計画期間

3.1 計画期間

・当該個別施設計画書の計画期間は、計画書作成年度から10年とする。

3.2 計画期間内の修繕費用の見通し

・補修工法については過年度施工実績、及び施工時の経済性、維持管理、耐用年数等を考慮し、クラック抑制対策工法を用いた舗装強化工事を基本とする。

なお、診断区分Ⅲ（損傷レベル：Ⅲ）全路線を補修すると仮定した場合、約 580,900 千円の縮減が見込まれる。

「算出根拠」

打換え工法 15,700m×86 千円=1,350,200 千円

舗装強化 15,700m×49 千円= 769,300 千円

580,900 千円の縮減効果

※算出条件：診断区分Ⅲ（損傷レベル：大）

対象延長 L=15.7 km

打換え工法 86 千円/m、舗装強化工事 49 千円/m

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等のほか、路線の特性、地域住民からの要望などを考慮し補修の優先順位を決定する。

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

・令和4年度に点検した約 19 km の診断結果は以下のとおり

	MCI（維持管理指数）			計
	区分Ⅰ MCI ≥ 5	区分Ⅱ 5 ≥ MCI > 4	区分Ⅲ 4 ≥ MCI	
分類Cの道路	4.4km	5.5km	9.1km	19.0km

※診断区分と状態

診断区分		状態
区分Ⅰ	健全	損傷レベル：小 管理基準に照らし、劣化の程度が小さく、舗装面が健全な状態である。
区分Ⅱ	表層機能保持段階	損傷レベル：中 管理基準に照らし、劣化の程度が中程度である。
区分Ⅲ	修繕段階	損傷レベル：大 管理基準に照らし、それを超過している又は、早期の超過が予見される状態である。

5.2 対策内容と実施時期

・更別村第6期総合計画及び令和4年度路面性状調査結果を基に、健全度判定Ⅰの路線についても、部分損傷や地域要望、国際サイクルルート整備要望等を考慮し、以下のとおり舗装強化工事を実施する。

路線番号	路線名	区間	区間延長	種別	健全度区分	対策内容	実施時期
102	勢雄13号	道道駒島更別線～ 道道更別幕別線	2400m	1級	Ⅰ ※1	舗装強化	R2～R5
108	東5号	南11線～ 南1線	5500m	1級	Ⅲ	舗装強化	R3～R13
113	香川南中央線	北11線～ 国道236号	2200m (1200m)	2級	Ⅰ ※2	舗装強化	R5～R6
116	勢雄西1線	道道駒島更別線～ 道道更別幕別線	5100m	1級	Ⅲ	舗装強化	R8～R12
119	勢雄21号	勢雄西1線～ 道道更別幕別線	1000m	2級	Ⅱ	舗装強化	R8～R9
120	38号	東9線～ 旧広尾道路甲線	2800m	2級	Ⅱ ※1	舗装強化	R3～R5
124	南4線	南15号～ 道道更別幕別線	4000m	2級	Ⅲ	舗装強化	R4～R9
128	東15号	南6線乙～ 南4線	1100m	2級	Ⅲ	舗装強化	R6～R8

※1 R2～修繕実施による値

※2 高規格道路工事に伴う一部区間修繕(1000m)実施による値